

安心・安全
心続けたら
住み続けたい
生活環境

知ら咲か



2016 DECEMBER NO.43

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 URL <http://www.shirasaka8.net/>
連絡先 「知ら咲か」ホームページの“問い合わせ”をご利用下さい。

今期のテーマは順調に進行

地域の皆様の後押しが大きな力に・・・

平成28年度「知らせましょ・咲かせましょ」総会で承認戴きました活動テーマは順調に成果を上げています。これも偏に皆様方のご支援の賜物です。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度の主要活動テーマを左の枠に掲げました。このテーマは、従来の活動を引き継ぎ進化させる項目と新たに取り入れるテーマがありました。皆様を支えて戴きそれぞれのテーマでそれなりの成果を上げています。

平成28年度「知らせましょ・咲かせましょ」テーマ

1. 広報紙「知ら咲か」の毎月発行と充実

カラー印刷化して表現豊かに、かつ綺麗な紙面にします。

2. 大型ゴミ回収の実施

ご要望にお応えし、さらに充実します。

3. 行事支援

子どもラジオ体操など行事支援

4. 地域内各種調査と提案

(4月総会議決より)

◆広報紙「知ら咲か」

「毎月発行と充実」として、テーマ実行内容を「カラー印刷化して表現豊かに、かつ綺麗な紙面にします。」と記しました。すぐ印刷会社等を調査して4月号からA48面すべてをカラーページに変更しました。

従来の輪転機での白黒版では写真がつぶれて、お伝えしたい情景等も伝わらないことがありました。カラー版になり解消できたのでないでしょうか？

副次的な効果も出てきました。地域の皆様からの持ち込み原稿が増えたことでも「文章表現を用いなくても「写真」によって、多くの情報を伝えることができることが分かってきたのです。つまり、写真を中心として地域の皆様への情報発信が可能になったことで記事作成のハードルが低くなったのです。読者の方には写真持ち込みだけで記事作成が可能であることをお伝え致します。

◆大型ゴミ回収の実施

先月号の記事で掲載致しましたように10月13日に、昨年度まで以上にクリーンセンター、8マンション管理組合あるいは自治会の皆様と入念に打ち合わせをして協力を得て実施することが出来ました。回収ご希望の方の期待にお応えするという一義的な目的の達成が当然ながら成果の一つです。

今回は、もう一つ「ノウハウの蓄積」という財産が増えました。

クリーンセンターへの持ち込みは個人単位が原則です。私達の回収は、個人の方でそれが出来ない方のために代行をして行っています。そのための手続き関係を含めて入念にどうすればいいかを市とも調整して実施しましたのでノウハウができました。



◆行事支援

二年目の夏休み子どもラジオ体操はラジオ体操グループの「ゆずり葉緑地・元氣」さんが主催して8月1日から1週間実施されました。

地域の多くのお子さまと大人の方の交流の場としても成果が多く見られたようです。

◆地域内各種調査と提案

普段、何気なく通り過ぎていく地域内の問題点や素晴らしい資源を拾い集めて「知ら咲か」紙上で紹介させていただきました。私達だけでは解決できない問題もありました。が、地域の皆さんの中で各種問題提起に対する知見やノウハウをお持ちの方がおられると思えますのでお力をお貸しただければ幸いです。



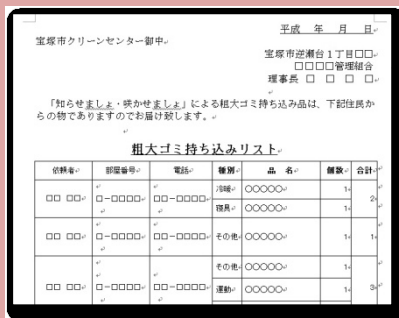
2016年「知ら咲か」十大ニュース

1位 情報紙「知ら咲か」カラーに



4月1日発行「知ら咲か35号」からカラー版になりました。写真が鮮明になり、情報をお伝えしやすくなりました。

2位 粗大ゴミ回収ノウハウ飛躍的に向上



クリーンセンター管理課さんとのスムーズに処理できるシステムとして各マンション別の依頼者、持ち込み品リスト添付方式を確立しました。

3位 粗大ゴミ回収会員特典料金



会員様には特典として回収料金を3000円割り引かせていただきました。

4位 子どもラジオ体操参加者増加



昨年以上のお子さまがゆずり葉緑地公園に集まりました。(大人も増加)

5位 会員に防災セット配布



会員様に防災用スマートエマージェンシーボトル5点セットを配布しました。

6位 逆小ドラゴン優勝速報に掲載



宝塚市春季少年野球大会での逆小ドラゴン優勝を即時掲載。

7位 平成28年度福島会長体制に



4月の定時総会で福島啓介会長を選任し今期の続活をしています。

8位 BACE 逆瀬台店閉店



エリアの生鮮品店として期待するも諸条件が整わず撤退しました。

9位 寄稿記事、大幅に増える



エリアの皆さんから多くの原稿が寄せられ記事こささせていただきました。

10位 エリア内行事積極取材



エリアで開催されている行事に編集部が常時取材して記事作成しています。

番外

- 11位 ホームページ問い合わせ履歴
- 12位 暮らし知恵等の生活情報増加
- 13位 防災関連記事継続掲載
- 14位 知ら咲か会員数前年より増加
- 15位 毎月1日発行を厳守継続

この順位は編集部判断で決定しました。

粗大ゴミ回収パークマンションご利用者様から

Aさん
粗大ごみの回収ありがとうございました。

粗大ゴミは、大きくて、重くて、クリーンセンターに依頼しても以前のマンションの回収事業でも、ステーションまで運ぶことが大変でした。

今回決められた時間に玄関先に出していたら、担当の方がキャリーカーで運んでくださいました。とってもありがたかったです。

一件ずつ、重たいのに回収ありがとうございます。

tokuさん
この度の粗大ゴミ回収では、お世話をおかけしまして有難うございます。

今回初めて回収をお願いしましたのは、父が使っていた『回転式座椅子』でした。

母が大腿骨を骨折し、使っていたリクライニング座椅子は危険になり、父が使うことになりました。そして、誰も使わない父の座椅子は、仏壇の横でちよつとした物置になってしまいました。

この座椅子があるから物置が出現して狭い部屋が片付かない・説得して、廃棄することになりました。

両親とも、大正時代のひとなので、「捨てない人種」です。

そうではない方々もいらつしやるでしょうが、使わないいろいろな物（例えば花崗岩の重石、大きな水がめ、壺、石の置き床？など・・・）が、ベランダや部屋の隅に置いてあるわけで、廃棄しようかと相談するのですが「・・・おいとけ」となるのです。母の方はまだ従順ですが、父は駄目です。

そういうわけで、一向に家の中は片付かないのですが、父が物申さなくなるころには、私も高齢となり思うように動けず、やつぱり家の中は片付かないのではと不安になるわけで、もしそのような状況になったとき、近隣地域の皆さまにご支援いただけるとありがたいのだけれど・・・などお手前勝手なことを考えています。

Fさん
以前より整理しなればと思っていたところ、玄関先まで回収して下さって有難うございます。（ステレオで、運ぶのが大変だったのでは・・・、本当に良かったです。）

粗大ごみ回収方法まとめ

今後各自治会・管理組合様が単独で粗大ごみの廃棄をされるかもしれないのでその方法をお伝えしておきます。

＊自治会・管理組合単位で廃棄物を持ち込む。

＊どなたが何を廃棄するか一覽表にして廃棄時に提出。（廃棄できない商品は返却されるので誰の持ち物かを明確にする）

＊廃棄自体が自治会長、管理組合理事長が承認している

＊持ち込み予約する際、だれが持ち込むかを明確にする

＊午前中は1t車未満、午後からはそれを超えても可能

現在、マニュアルは無いようですがこのようなことをクリアーにすれば快く対応していただけます。

このような条件を解決すべく「白瀬川両岸住宅協議会」に参加する自治会・管理組合の代表者の方々に説明をさせていただきご理解をお願いしました。

「知ら咲か」 42号2ページ 一段〜三段再掲載

段重なりの修正

問題点を少しづつ解決し、迫りくる受け入れ時間と闘いながら一時は本日中に持ち込めなくなるような段取りの悪さに落胆しながらも最終的に市側の受け入れに助けられながら今年の「粗大ごみ」劇場は終了した次第です。

《今回感じたこと お節介りかもしれません》

残念だけど作業するメンバーの老いに伴いつつまでも続けられそうにもない。

やはり個人的には各自治会・管理組合が逃げないでごみ対策に真摯に取り組んでほしい。

物を買うにもお金はかかるけど大型ごみは買う以上に廃棄にお金がかかるという自覚を持たないと。

捨てれば捨てるほど部屋が広くなり掃除もしやすいけど思い出のあるものは捨てにくい。

最後に来年のためにも、もう一度管理課さんを訪ねて、今回の対応のお礼と提言をさせていただきます。と思っています。



粗大ゴミ回収実績 (収支含む)

項目		27年度	28年度	増減比較	%
参加マンション数	棟	7	8	1	114
申込み戸数	戸	41	50	9	122
内会員申込み戸数	人	5	18	13	300
申し込み回数	個	記録なし	177	—	—
利用料収入	円	116,200	74,300	-41,900	—
回収業者等対価	円	140,000	75,930	-64,070	—
収支	円	-23,800	-1,630	22,170	—

◆事業収支は大幅に改善
① 今年には全てのマンションから申込みが得られました。
② 申込戸数は約20%増加しました。
③ 会員様からの意見を反映して、会員に対する特典を設けました。
④ 自治会管理組合の協力が得られ、回収業者の変更により費用は大幅減少しました。

白瀬川両岸集合住宅協議会秋の芸術月間参加行事 ふれあいサロンアヴェルデ 第 77 回「バザー・作品展」

10月23日(日)10時から5時まで、バザーと作品展の会場には当マンション住人だけでなく近隣の方々もお見えになり、入者は延べ200人近くになりました。10時の開催を待ちかねた多くのお客様を嬉しくお迎えしました。



作品展に出品されたアーティストは26名。また1階のふれあい喫茶会場では「書道教室」で練習する子ども達の書道作品、「ゆずり葉いけばな子ども教室」での生け花作品も華やかに展示されました。

曜日の午前中に集い、様々な手作り作品をあれこれ工夫しながら作成してまいりました。南天の枝を切り台座にした小さな「さるぼぼ」のお顔はふうせんかずらの実です。

また大人気の牛乳パックを使ったスツールもたくさん。手間と労力が必要でした。スツール作成に使った



キルティング布の端切れも捨てることなく小物を作って使い切りました。心をこめて作った品々を手に取りお買い上げ下さった皆様にお礼申し上げます。





筆者は、今年春からサロンに参加させていただいておられますが、たくさんのお素敵な出会いがあり、様々なことを学ばせていただきました。バザーの作品づくりには全く戦力にならない私でしたが、身近にあるものや、季節の植物を生かして生活を豊かなものにする営みは、現代時代には皆無でした。それだけに会員の方々の姿勢には敬服するばかりでした。

サロンの目的は絆づくりであり相互の見守りでもありません。回を重ねることに充実してきたというバザー・作品展ですが、「皆さん、去年とはまた違う作品を出品なさっているから、すごいわねえ！」という声が聞こえました。中には、惜しくもお亡くなりになったご主人様の遺作を会場に飾ってくださった奥様、お母様の手芸作品を家族総出で観覧くださったご家庭の姿もありました。競い合うのではなく、いつまでも「輝き合う」舞台であり続けたいですね。当日までは作業が目白押しでした。前日の午後には会場の設営です。



管理棟内部だけでなく玄関にも心尽くしの花が運ばれました。ベランダで丹精込めて育てられた花達が会場への素敵なプロムナードとなりました。

商品の値段付けは侃侃諤諤（かんかんがくがく）！主婦の財布の口は固いのです。

「こんな風にレイアウトお願いします！」の号令のもと各コーナーの設置が進んでいきます。持ち寄り品と言えども、より美しい演出を心がけられて、自宅に帰って

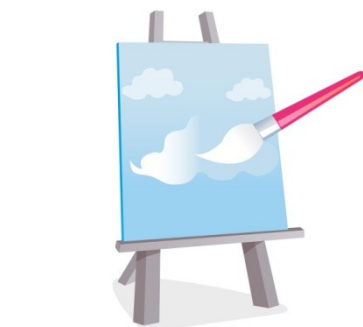


ではテーブルセンターやクロス等を持参して装飾。

一方、自治会の男性役員の方々も、力仕事や額を吊るす用具のセッティングなど、身を粉にして手伝ってくださいました。本当にありがたいことです。

多くの皆さんの心が一つになった今回の催し。前日の雨雲を吹き飛ばし、少し風は冷たいものの、心温まるもの管理棟いっぱいにあふれておりました。

お礼申し上げます。



今後とも多くの皆様に参加していただき、明るく和やかな「ふれあいサロン・アヴェルデ」を楽しんでいただけることを目指してまいります。

中子様にお話を伺いました

もちつきの時の薪の話題が出て、この地域でお住まいの中子様の存在を知りました。少し関心がわきお話を伺わせていただきました。

中子様からの、お話から

中子さんは、10年前から桜守の会の会員として裏山の整備、管理と行動されました。80歳を迎えられ若い人に、迷惑になってはと考えると、裏山の隅々迄、すべて把握されている人として尊敬されています。

私達の、地域の祭りでの餅つきの時に使う薪を、いつもお世話して下さいます。裏山を管理される時、虫がついてダメになった木々を伐採します。それを乾燥させるため長期間干してその後小さく割って薪として下さっています。

中子さんはもう体力が衰えて皆さんに迷惑をかけると言われていきます。会員でなくともいまままでと同様に山歩きをし、山の整備、管理も

される事と、思います。

今、こならの木で虫により枯れてきている木はほとんど伐採して、残っている木は、大ならの木で、これはチェーンソーを使わないと伐採出来ない程、幹が太いので、切っても下まで下ろすのがとて大変で、体力が、ついていけないそうです。

来年の餅つきの薪も間に合いそうかなあと言われましたが今後の事はみんな考えてる事だと思えました。若い人(中子さんより)の体力が、今必要とされています。

この機会に、薪づくりのノウハウを教わりたいものです。中子さんからお話を聞かせて頂き、木を見る目が変わりました。沢山の枯れた木が気になります。松、桜、樫、等々、木くい虫にやられてると...

編集部日記



話題の投書「理解に苦しんでいます」紹介

2016年11月の神戸新聞夕刊に、「理解に苦しんでいます」というどこかの管理組合の理事さんからの投書が載って、話題になっています。

記事の内容は総会で小学生の子供を持つ親から、「知らない人に挨拶されたら逃

げるように教えているので、マンション内では挨拶をしないように決めてください。子供には、誰がマンションの人かわからないので、教育上あり、「挨拶をしても挨拶が返ってこなくて気分が悪かったからお互いやめましょう」という趣旨の年配の方か

らの提案があり、挨拶をしないようにしようという告知を出すことが総会で決まったというのです。これって何なのでしょう？これが今の近所付き合いなのでしょうか？それにしても若い世代よりお年寄り世代のほうが多かったらうにこんなことが取り決められるとはびっくり。挨拶は集団生活の根幹をなすものだと思うのですが、確かに挨拶しても無反応な方は意外に多いですね。特に男性は...

院「元ることになったので、行く、交換して、あつという...」

強くし
いてみ
るん
うか
育上
困り
ます
、と
も
す
と、
年
配
の
方
か
ら
「
あ
合
理
事
を
や
つ
て
ら
ん
だ
が
、
先
日
の
住
民
総
会
で
、
小
学
生
の
親
御
さ
ん
か
ら
提
案
が
あ
り
ま
し
た
。「
知
ら
な
い
人
に
あ
い
さ
つ
を
し
て
も
あ
い
さ
つ
が
返
っ
て
こ
な
い
の
で
気
分
が
悪
か
つ
た
。「
お
互
い
に
や
め
ま
し
よ
う
」
と
、
意
見
が
一
致
し
て
し
ま
い
ま
し
た
。
に
教
え
て
い
る
の
で
、
マ
ン
シ
ョ
ン
内
で
は
あ
い
さ
つ
を
が
、
世
の
中
変
わ
つ
た
な
と
し
な
い
よ
う
に
決
め
て
く
だ
さ
い
」
。
子
ど
も
に
は
ど
の
理
解
に
苦
し
ん
で
い
ま
す
。
(神
戸
・
西
、
自
営
、
男
、
56)

◆理解に苦しんでいます
住んでるマンションの管理組合の理事さんからの投書です。年配の方から「合理的な事をやっていると、年配の方から「あいさつをしてもあいさつが返ってこないの気分が悪かった。」お互いをやめましょう」と意見が一致してしまいました。に教えているので、マンション内ではあいさつをしないように決めてください。子供には、誰がマンションの人かわからないので、教育上あり、「挨拶をしても挨拶が返ってこなくて気分が悪かったからお互いやめましょう」という趣旨の年配の方か

人がマンションの人かどうかは判断できない。教育上困ります。ともす
と、年配の方から「あいさつをしてもあいさつが返ってこないの気分が悪かった。」お互いをやめましょう」と意見が一致してしまいました。

一生に一度の体験



Y記

投稿記事歓迎!
皆様からの寄稿を紙面に掲載します。原稿をお寄せ下さい。

忘れかけていた大切なこと！

定年まで 42 年間勤めていた会社の同期会に出席しました。会社は明治 29 年 8 月創立で 120 年になりました。

同期は、北は栃木、南は佐賀に跨り 24 名ですが、加齢もあり今回の参加者は 12 名でした。

前日は創業地近くの温泉で一泊、翌日は創業者の墓詣と本社見学を行いました。

見学は常設の記念館主体 120 年間の膨大な社歴資料を過去・現在にわたって懐かしくまた感慨深く時間をかけて見て回りました。

近々に未来館もオープンとのこと楽しみにしています。会社の益々の繁栄と同期諸兄の健康を祈念しながら散会しました。

記念館を見てまわる過程で、創業者の創業の崇高な精神、従業員は皆家族との思い、教育への熱心な思いを改めて感銘をうけました。と同時に何か大切なことを忘れかけている自分を強く感じました。

在職中に従業員が常に思い実践に心がけていたことで、「誠意をつくす」ことと「三つの躰」を実践することです。

「知ら咲か」に投稿することで、共感を得られ、少しでもお役に立てれば幸いです。

誠意。とは

一生懸命、これが誠意です。相手の身になって行動する。小事をおろそかにしない。表裏がない。約束を違えない。

「誠意をつくす」ために従業員は何をすればいいのか？ 検討の結果

「3つの躰」が出来たのです。

① あいさつをする

あいさつを受ければ心がなごむ。うれしいと感じる心を大切に
あいさつは人にする

もの、されるもの。心が通じる道である。

あいさつは思いやりの心、「相手の身になる」はじまりである

② はきものをそろえる

そろっているのが美しい、美しいと感じる心を大切に

そろえる心が気をひきしめる、小さなことにも気をくぼる

そろえてあればはきやすい
先のことまで考える

③ そうじをする

そうじをすればすがすがしい
清いと感じる心を大切に

そうじの心は 正しく明るい
きれいであれば美しい

そうじで清潔整頓
はじめをつける

この「三つの躰」は日常生活においても大変大事なことでと思います。

①と③はよく言われる行動です。②は一寸と変わっていませんが合理的ですね。

どれもが簡単にできる事柄です。でも、「なかなかできない」「やらない、やろうとしない」のも事実です。

実行できれば夫婦円満、家族円満、近所づきあい円満間違いなしですよ！

(HBO記)

**バスが出た！
歩いて帰る？
バスを待つ？**

(ひまじん記)

逆瀬川で電車を降りバス停まで走っていききました。でも、無情にもバスが発車してロータリーから出て行ってしまいました。
こんな時、皆さんはどんな

選択をするのでしょうか？

逆瀬川から西高校前までバスなら 10 分、徒歩なら 30 分、次のバス出発まで 15 分とした場合です。

単純に計算すれば、次のバスで帰った方が 5 分早く帰れます。

絶体に見逃せないテレビ番組を見なければならぬとか確約した時間に在宅しなければならぬといった場合は有無をいわずバスに乗るでしょう。

人によって選択が変わるのは「5分」をどう使うかの価値判断の違いです。

バス停で 15 分待つのがもったいない、歩いて帰れば 5 分だけ着くのが遅くなるが「30 分の運動が出来る」と考える人もいます。

15 分待つている間にアピアで少し買い物をするという方もいるかもしれません。

15 分バス停で待つているのはアイドルタイムとして休憩時間と考える人もいます。

1日に 24 時間ある時間をどう使うか、それぞれの方の価値判断が異なると当然でしょう。それぞれの生き方なのでしょう。

白瀬の自然

ビワの花

今の時期に咲く花は多くないのでこの欄でも掲載する品目を選ぶのに苦労します。

しかし、街角にこんな花の姿を見つけました。それはビワの花でした。そういえば・・・と思い出す方もおられるかもしれません。

このエリアの近辺でこの花を目にすることが出来る場所があります。

ビワ (枇杷、学名: *Eriobotrya japonica*) はバラ科の常緑高木です。多くは果樹として栽培されており 10m くらいの高さまで達するものもあります。

実はご存じのように楽器の琵琶の形をした黄色い一口大の大きさです。

実の中には大きな種を一つ持っています。

びわは梅雨の頃に実がなるため 6 月の初めから 7 月の初め頃の季語にもなっています。

花の方は冬に、枝先にやや黄色味を帯びた白い五弁の小花を咲かせる。

目立たない花ではあるけれどもかぐわしい香りを持ち、「枇杷の花」や「花枇杷」あるいは「枇杷咲く」などは初冬 (はつふゆ: 立冬 [11 月 8 ごろ] から大雪の前日 [12 月 7 日ごろ] まで) の季語となっています。



この写真は数年前に撮影しましたが、今でもパークマンション前から逆瀬台小学校方面に上がっていく途中で斜面に育っている物です。

冬の時期に見る花はそう多くないので人目みておいて下さい。

「桃栗三年柿八年枇杷 (は早くて) 十三年」とも言われ、結構、収穫まで長い年数を要する果物でもあるようです。

編集後記

2016 年も残すところ一ヶ月となりました。「知ら咲か」の一年を振り返り、十大ニュースとして、足跡をたどってみました。

いろいろありましたが、第一位はこの「知ら咲か」がカラー版になったこととなりました。ペーパーですから、文字による伝達が基本ではありませんが、色の伝える力がこれだけあるとは私達も思っています。

カラーになった 4 月 1 日号以降、読者の皆さんからのお声がたくさん届くようになったのがその証かと思えます。

カラー化とともに、輪転機から印刷会社での印刷になったのも「正確にお伝えする」という面では格段の進歩であつたと考えています。

「粗大ゴミ回収ノウハウ飛躍的に向上」が第二位になりました。こちらは発足以来、毎年続けて実施して、都度、いろいろな課題もあげられてきました。今年も、事前に入念に関係者様と協議を繰り返して、これまでの回収と比べて飛躍的に内容が進化しました。ただ、全く問題がなかったのではなく、ボランティアメンバーの高齢化や時間管理面での綱渡り状態など、残された課題もしっかりとあげています。満足するのではなく足元を見つめ直すことで、何事も進化を続けるということを一、肝に銘じています。

新しい年も、皆様方のお力と、ご参加が力になります。よろしくご支援のほどお願い申し上げます。

(S)